

勿凝学問 325

国難を乗り越えるための政策協議と国民を不幸にする数合わせの相違点

2010年7月18日
慶應義塾大学 商学部
教授 権丈善一

7月15日にHPで紹介したことに続いて、今日もなんだかいいねえ。

- [其の参](#)

ちなみに、7月15日のHPへの書き込みは次。

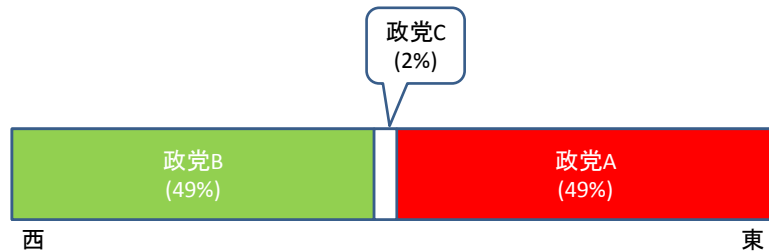
- なんか、いいねえ (笑)。
 - [其の壺](#)
 - [其の式](#)
 - 今朝の日経には次のようなのもあったな。

寸言 男らしくない

「菅直人首相だけをつかまえて『お前が悪い』と責め立てるのはあまり男らしいやり方ではない」(たちあがれ日本の与謝野馨共同代表がテレビ朝日番組で民主党に苦言)

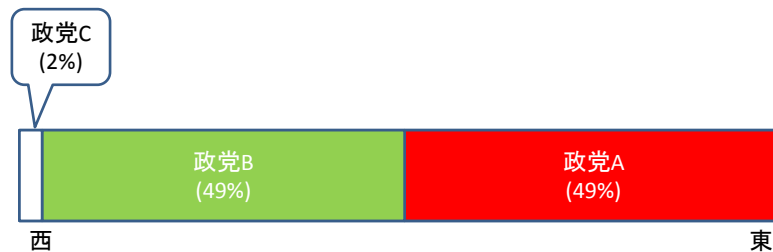
普通は、少数派がキャスティングボートを握るのは(あるいは握るべきなのは)、争点が一次元で、多数派の1位と2位が、一次元争点上の右と左に分かれている場合なんだよな。

一次元争点とキャスティングボード



だけど、今の状況は、2大政党の党首が、共に財務大臣の経験者であり、問題意識と解決手段を共有しているという特殊日本的状況にある。

2大政党の党首が財務大臣経験者という 特殊日本的状況



さて、ここで問題。

上記、ふたつの状況下では、それぞれどのような連携が社会的厚生を極大化させるだろうか？

与謝野さんの発言は、上の「問い」を、自然に解いた上での話しだと思し、僕が彼の発言を「なんだかいいねえ」と感じるのも、そのあたりに理由があるからなんだろうな。

以下、参考となる文章でもどうぞ。特に、勿凝学問 312 の次の表と、その下にある注を読んでおいてくれ。

[勿凝学問 312](#) より (6月6日脱稿)

| | | |
|----|------------------------------|---|
| | 財政問題を正直に論じて、国難を乗り越えようとするグループ | 財政問題でウソをついて衆愚選挙をしかけ続けようとするか、社会保障機能強化を考えていないグループ |
| 与党 | 民主 菅グループ | 民主 小沢グループ |
| 野党 | 自民 谷垣グループ 立ち上がれ日本 与謝野グループ | 自民 上げ潮派 みんなの党 等々 |

参考資料 「[参院選前夜の政界マップ](#)」『週刊東洋経済』4月24日号

注) 面白いのは、民主党内の対立グループ、自民党内の対立グループは、互いに烈しく憎み合っており、菅・谷垣間、小沢・上げ潮派・みんなの党間の方が親和性が高いということ。僕が、各政党を海苔巻きのようにまな板の上に並べて、右と左の2つに分ける政界再編の必要性ありと言い続けてきた根拠は、そこにある。日本の政党は、まあ、政党の体をなしていないわけで、民主党の代表選や自民党の総裁選の結果次第で、党の方針そのものが右に行ったり左に行ったり右往左往——有権者にはたまったものではない、政党政治確立に向けた原始的状態。。

- [勿凝学問 310 「日本の経済・国民生活を守る仕事に就く者たちが挙国一致で取り組むべき課題」の意味](#)
- [勿凝学問 312 まともな野党が生まれてきたというこの国の好機——政権交代の意義は、やっぱり、バカな最大野党がいなくなったことなんだよ](#)
- [勿凝学問 316 野党に助けてもらうんだから与党も譲ってあげないとね——負担を論じるということは給付を論じること](#)
- [勿凝学問 321 相手は野党だ、その喧嘩の仕方はいただけないねえ、プライムミニスター](#)